



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名：アレルギー膠原病科・小澤廣記

【研究責任者】

聖路加国際病院 アレルギー膠原病科
聖路加国際大学 公衆衛生大学院 修士課程 小澤 廣記

【指導教官】

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 教授 大出 幸子

ステロイド長期使用患者さんを対象とした

骨粗鬆症予防対策に関する研究

1.研究の対象

2011年1月から2024年3月までに聖路加国際病院でステロイド剤（プレドニン®など）を3か月以上連続して、または年に6回以上処方された18歳以上の患者さん。

また、2011年1月から2024年3月までに聖路加国際病院の外来で、関節リウマチと診断された患者さん。

2.研究の目的・方法

ステロイドは、関節リウマチなどの疾患でよく使われる薬ですが、長期間使用すると骨がもろくなる骨粗鬆症のリスクが高まります。この研究では、どのようにこのリスクを管理されているか、特に骨粗鬆症予防のための薬がどれだけ処方されているか、また、骨の健康をチェックする骨密度検査がどれくらい行われているかを調べます。これにより、医療の質を向上させるための情報を得ることが目的です。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までです。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 ステロイド剤の処方データ、骨粗鬆症治療薬の処方データ、骨密度検査データ、血液検査データ、年齢、性別、診断情報、カルテ番号等